

認知症地域ケアガイドブック；早期発見から看取りまで

目次

はじめに	iii
執筆者一覧	iv
執筆担当一覧	v
第1章 認知症地域ケア	1
Ⅰ. 認知症地域ケアの現状と課題を整理する	本間 昭 3
1. はじめに	3
2. 認知症に関する十分な認識が得られていない	3
3. 医療とケアの連携の欠如	5
4. 認知症の行動・心理症状への対応	7
5. 認知症者の尊厳を守るために	8
6. まとめにかえて	9
Ⅱ. ケア関係者が共有すべき認知症ケアの視点	宮島 渡 11
1. ケアを始めるには、認知症の人の理解から	11
1) 何を理解したらいいのか	11
2) 認知症の人をどのように理解したらいいのか	12
(1) 記録による理解	12
(2) ミーティングによる理解	13
(3) アセスメントシートによる理解	13
(4) 関わりによる理解	13
2. 認知症の人の言葉や行動表情をサインとして捉える	14
(1) 評価的理解	14
(2) 分析的理解	15
(3) 共感的理解	15
3. 「提供者側の視点」から「本人本位の視点」へ	16
4. まとめ	18
Ⅲ. 認知症ケアにおける倫理的視点と個人情報	今井幸充 19
1. はじめに	19

- Ⅲ．かかりつけ医とサポート医の役割（木之下徹）
- Ⅳ．認知症外来レベルで可能な医療（木之下徹）
- Ⅴ．BPSD への地域対応；入院加療，緊急保護を要する時（本多智子，木之下徹）
- Ⅵ．デイサービスとショートステイでの留意点（谷口真理子，木之下徹）

第 6 章 虐待ではと思われる時の地域対応

- Ⅰ．虐待と思われるケースが発見される状況（中西三春）

第 7 章 認知症終末期に対応する在宅，地域ケアの実際

- Ⅰ．認知症の終末期の地域ケア（須貝佑一）

付 録：個別事例に対応するための専門知識の整理

- Ⅰ．医学的知識（須貝佑一）
- Ⅱ．法律的知識（渡邊浩文）
- Ⅲ．介護・福祉分野の知識（渡邊浩文）
- Ⅳ．医療連携，専門職連携に必要な知識（渡邊浩文）